



鳴海ヶ丘新聞



令和7年度
2025. 7



栄光まつり

五月のある日、園長先生が幼稚園の前の庭のエノキ(榎)の下に空いている穴から、ミツバチが出入りしているのを見つけた。中部ミツバチの会の副会長さんに八チを見ていただく、「日本ミツバチ」であることがわかりました。日本ミツバチは温厚な性格で、子どもたちに危険はないとのことでしたが、日本ミツバチたちの将来も考えて、一度は巣を移動させることを試みました。ところが、鳴海ヶ丘幼稚園のエノキの巣がとて心地良いようで、ミツバチたちは、出てきてくれません。そこで、子どもたちや来園した方々に日本ミツバチを観てもらえるよう、幼稚園の庭師さんの協力で素敵な観察用の柵を作りました。栄光まつりでは、皆さまに可愛いミツバチを観ていただくことができました。先日の朝礼で、園長先生が、ミツバチが花や野菜にとっても大切な役目をしていること、ミツバチは優しいよ！と伝えると、子どもたちは静かに聞いていました。幼稚園の自然豊かな環境に訪れてくれた「日本ミツバチ」に感謝して、子どもたちと自然の大切さや、守っていかねならないこと、私たちにできることを学んでいます。

はぐくむ ちいさな つばき

六月二十八日に「栄光まつり」が開催されました。「はぐくむ・ちいさな・つばき」に「つなぐ」をテーマに、家族が楽しめるプログラムを企画しました。親子で作るお面作りや夏のまつりを一足早く感じるふうせん釣り、ワクワクするフラダンス、そして、担任の先生たちが、本番に向けて頑張った練習した劇の発表も楽しんでいただきましたか？そして、日本ミツバチのお披露目もありました。ご家族で楽しむ様子に、私たち職員一同、次回の行事にも力が入ります。2学期は、子どもたちの成長を見ていただける行事が多くあります。お楽しみに！



親子ふれあいあいデー



新年度を迎え、新しい学年、クラスとの交流と、お子さまが幼稚園で元気に過ごしている様子を見ていただける「親子ふれあいデー」。体育ローテーション、工作、ひまわりの種まき、年長組は近隣の散策等、日頃、幼稚園では見られない親子で楽しむ様子から、親子で体験することや幼稚園でしかできない体験を、これからも大切にしていきたいと感じました。黄・赤組の親子で種まきした「ひまわり」は、なるなる畑で成長中です。

うんどうかい



ゴールデンウィーク明けから、運動会に向けて練習が始まりました。競技や演技についてクラスで話し合い、体育指導の時間にイメージを膨らませて、本番さながらの練習を重ね、当日を迎えました。前日から天気予報を見て、ドキドキ・・・無事開催された運動会は、プログラムを大幅に変更して行いましたが、子どもたちは練習の成果をしっかりと発揮できました。なにより、保護者の皆さまの温かい声援と眼差しが、子どもたちの頑張る力となりました。ありがとうございました。

交通安全モデル園に選ばれました



啓発運動の様子が
7月22日の中日新聞朝刊に掲載されました。

緑区鳴海町の鳴海ヶ丘幼稚園が、地元「交通安全モデル園」に選ばれました。園児たちは、制服の着脱やヘルメットの着用を練習し、交通安全の大切さを学びました。

「交通安全モデル園」の選定は、緑区鳴海町の交通安全推進委員会が、園児たちの交通安全意識の高さや、園児たちの交通安全意識の高さを評価し、選定されました。

園児たちは、制服の着脱やヘルメットの着用を練習し、交通安全の大切さを学びました。

交通安全モデル園に選ばれた園児たち。

「地頭力」

先日、教育評論家の尾木直樹さん(尾木ママ)の講演を聴いてきました。

- AI時代、VUCA(不確定)の時代には、地頭(じあたま)力が必要と説かれます。地頭は生まれもった知能と言う人もいますが、不確定の時代には、IQ(知能指数)以上に、H・Q(人間性)、人間力が求められます。知識量はAIによって代わられ、「なぜ」「どうして」と問題を見つけ、いろいろなり方で解決し、新しい発見や創造をする人間力が、未来の人財となるわけです。この基は、幼児期の原体験であり、尾木ママは「地頭を育てる八つの領域」を挙げています。
- ①動物の体験
ペット、飼育物とふれあい
生死を感じる
 - ②草の体験
笛、匂い、草木染め
 - ③木の体験
香り、倒木から苔、新芽がうまれる輪廻
 - ④水の体験
涼や冷、心の解放
 - ⑤火の体験
つける、消す、焚き火
 - ⑥石の体験
飛び石、積み石
 - ⑦土の体験
感触、どろんこ、掘って虫が出るなど
 - ⑧ゼロの体験
暗闇、極寒、星、宇宙
人間を超えた力を感じる
- つまり自然の中の原体験にこそ、感性、思考力、探究心、創造力を育て、地頭を鍛える力があるのです。この夏休み、たっぷりお子さまが自然体験できるキャンプもおすすします。

園長 岡田 勝彦